

陽炎 2 型 B (Ver.2、Ver.3 共通) 補足説明書

■ セルフテスト

バッテリーを接続するとセルフテスト（自己診断）を行います。
セルフテストを開始すると制御基板上の LED が点灯します。

- セルフテストが終わるとバッテリー選択の状態をブザーで通知します。

ニッケル水素設定	長いブザーが 1 回鳴ります。(—————)
リポバッテリー (2 セル 7.4V) 設定	短いブザーが 2 回鳴ります。(・・)
リポバッテリー (3 セル 11.1V) 設定	短いブザーが 3 回鳴ります。(・・・)

※バッテリー設定と接続したバッテリー種別が合っていないと適正にバッテリー監視を行えないので、
バッテリー種別が変わる場合は基本プログラムモードでバッテリー設定を必ず行って下さい。

- セルフテストでエラーの場合

エラーを検知した場合、下記の検知をします。

使用可能電圧を超えるバッテリーを接続した場合

使用不可電圧バッテリー	ブザーが 10 回鳴った後 LED 高速点滅 (・・・・・・・・・・)
-------------	-------------------------------------

バッテリー設定（基本プログラム）と合っていないバッテリーを接続した場合

設定と違うバッテリー	ブザーが 10 回鳴ったと LED 低速点滅 (————— —————)
------------	--------------------------------------

基本プログラム設定の⑨バッテリー設定でご使用になるバッテリーの種類を設定して下さい。

バッテリー残量が少ない場合（充電不十分）

残量不足（充電不十分）	ブザーが 10 回鳴ったと LED 低速点滅 (————— —————)
-------------	--------------------------------------

充電してからご使用ください。

■ スタンバイ状態（射撃可能状態）

バッテリー接続後またはプログラムモード後の 1 ショット目はピストンを前進位置にするためモーターの回転数を下げています。

- ご使用中にバッテリー残量が警告レベルまで低下した場合

バッテリー残量が警告レベルまで低下	LED 点滅 (— — —) をループします。 発砲時に一度だけブザー (—・・) で通知します。
-------------------	--

※バッテリー残量が使用可能限界に近づいているので、**早めのバッテリーの交換または充電**をお勧めします。

- ご使用中にバッテリー残量が停止レベルまで低下した場合

バッテリー残量が停止レベルまで低下	ブザーが 10 回鳴った後 LED 低速点滅 (————— —————) をループします。
-------------------	--

※全ての操作が無効になります。バッテリーを交換または充電して下さい。

- モーター駆動中にカットオフが未検出の場合

カットオフ未検出	モーターを停止して LED 点滅 (—・) をループします。
----------	--------------------------------

※ギヤ周りの破損等による作動停止、バッテリー電圧低下、モーター焼け、モーターコネクタ接触不良でもカットオフ未検出となることがあります。

■ センサーチェックモード

モーターコネクタを外した状態でバッテリーを接続するとセンサーチェックモードになります。センサー、スイッチの ON 状態は LED の点滅で通知します。

チェック終了はバッテリーを外してください。

※安全のためモーターコネクタはテープなどで絶縁してから行なって下さい。

Ver.2 用の場合

トリガー（センサーが反射）	LED 点滅（・・・・・・・・・・）
セミオート（センサー前側が反射）	LED 点滅（— — — — —）
フルオート（センサー前後で反射）	LED 点滅（— — — — —）
カットオフ（アームが倒れている状態）	LED 点滅（—— ———）

Ver3 用の場合

トリガー遊び小（アームが少し倒れた状態）	LED 点滅（・・・・・・・・・・）
トリガー遊び大（アームが大きく倒れた状態）	LED 点滅（・・・・・・・・・・）
セレクター（センサーが反射）	LED 点滅（— — — — —）
カットオフ（アームが倒れている状態）	LED 点滅（—— ———）

光センサーは反射によって ON になるので、反射タイミングが早い場合はつや消し系の油性マジックで黒く塗ると反応しなくなります。

セレクターは機種やメカボックス、セレクタープレートの固体差で正しく反応しない場合があるので必ず確認ならびに調整を行ってください

センサーテストモードの終了はバッテリーを抜いてください。

※基板をメカボックスに装着して配線周りが完了したらギヤ等を組み込む前にセンサーチェックを行うと再調整で分解するパーツが少なく済みます。

■ タペットプレートの一部が基板に干渉する場合があります。（Ver2 用のみ）

タペットプレートのメーカーによっては、スプリングのガイドが基板に干渉することがあります。

下の画像中央の赤く塗ってある部分をカットすることで対応できます。

メカボックスに陽炎 2 型 B とタペットプレートに載せてクリアランスを確認してください

